朝日子だより

吉田高校　進路指導部
H22.6.14　発行
社会人編　　Vol. 9

吉高生のみなさんへ
社会人の視点から、仕事内容や、社会人として必要とされる資質について書きました。進路を考える際の参考になれば幸いです。

渡辺　圭太（平成１５年度　普通科卒業）
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
名古屋支店営業部
一橋大学　経済学部　経済学科　卒業

仕事の内容は・・・

主に会社オーナー、開業医等の富裕層の方々に株式、債券、投資信託等の金融商品の提案・販売を行っています。ざっくり言うと、お金持ちに株などを売り込んでいる営業マンです。お金持ちというとなかなか想像つきませんが、株などをウン千万単位で購入する個人のお客さまもザラです。株式や債券などは基本的にどこの証券会社でも買うことができるので、商品で差はそれほどありません。あとは「誰」から買うか、ということなのですが、「それなら信頼できる人から買おう」ということになるので、私たちのような営業が重要になってきます。日々、お客さまから信頼を得るために一手間一工夫を心がけています。信頼関係がある程度築けていれば、「ナベちゃん（あるお客さんにこう呼ばれています）だから買うよ！」というような方もいます。
会社というより「人」でお客さまに選んでもらうイメージです。

職場の様子は・・・

名古屋支店は全国的に有名な錦地区と栄地区に隣接しています。錦は非常に狭いのですが、歌舞伎町と新宿三丁目と銀座と六本木をごちゃまぜにして小さくしたような地区です。栄は渋谷と原宿を一緒にして小さくしたような、名古屋で最もショッピングが有利な地区です。そんなわけで、アフター５にも（笑）、休日の買い物にも困りません。現在は会社の寮に住んでおり、職場からバスで約 15 分の住宅街に立地しています。
職場の雰囲気は、営業職ですので厳しいものがあります。与えられた数字目標（いわゆるノルマってやつですね）を日々追いかけており、上司から檄が飛ぶことも日常の光景です。ただ、一たび仕事を離れるととても人情深い人が多いです。証券業界は厳しくも昔堅気で人間味のある人が多い気がします。

就職前と就職後の印象の差・・・

多くの会社説明会や企業紹介では、その仕事にはさも重要な大義があり、学生にとってはメッセージ性の高い美辞麗句を連ねて説明されているものと思いますが、実際には非常に泥臭く途方もなく地道な取り組みが仕事というものです。私の仕事も非常に地道で、例えば電話で営業をするときは受話器を置いてはいけない（≒なるべく多くのお客さまに電話する）など、なかなか大変です。私は入社前に「ある程度、仕事はつらいものだ」と考えていたので大きなギャップはありませんでした。皆さんも基本的にはどんな仕事でも大変だと考えておいた方がいいと思います。そうしてあらかじめ覚悟していれば大きなギャップも生じず楽だと思います。

学生と社会人との違い・・・

自分以外の何ものかのために貢献する責任が生じてくるのが社会人です。この責任があるかないかが社会人と学生の違いだと思います。学生時代は自分のためだけにバイトをし、勉強し、遊んでいればよく、それを咎める人もいません。ところが社会人は仕事を通じて、大切な人や家族を養ったり、地域経済、日本経済に貢献することによって、社会から必要とされる人間にならなくてはいけません。自分以外の何ものかのために仕事をし、社会のなかで自分の存在意義を見出す必要があるのではないかと思います。

こうした仰々しいこと言って、皆さんは「社会人て大変そう・・・」と思ってしまうかもしれません。まあ実際大変なことは多いです。ですから、社会人になる前の学生時代はよく学び、悔いのないくらいよく遊んで下さい（笑）それが許されるのが学生だと思います。

今役に立っていると感じる高校時代の経験・・・

私は、日々の勉強や部活動の経験すべてが役立っていると感じます。それは、仕事や物事を成就させる上で必要になる「目標を定めて、それを達成するためのプロセスを逆算し、行動する」というフレームワークの基本を、吉高時代の経験を通して学ぶことができたと感じるからです。私はバレー部に所属していたのですが、当時の目標が県ベスト４入賞でした。それを達成するには、上位チームと比べた私たちのチームの強み、弱みを分析し、強みを生かし、弱みを克服するような練習をしなければなりません。ではその練習はいつまでにどれくらいの程度取り組めば公式戦に間に合うのか・・・こうして練習メニューを考えていきました。勉強でも同じで、志望大学に合格するためには、出題傾向を知って、知識不足や苦手な分野を強化し、得意な分野に一層磨きをかけるような勉強

が必要になります。ただ、こうしたフレームワークを当時から意識して行動してきたかと言えば、それは全くの嘘になります（そうした高校生だったら逆に気持ち悪いです・・・）。ただ、今振り返って見ると、無意識のうちに「目標達成のための逆算した行動」がとれていたのだと思います。

こうした経験が生きたのが、仮面浪人時代だったと思います。私は現役時代には一橋大学に前期・後期とも不合格し、慶応義塾大学に進学しました（しかも後期はセンターの得点で足切り・・・上記で偉そうなこと書いてすいません・・・）。ただ、一橋をどうしても諦めきれず、大学１年生の５月から受験勉強を再開しました。当時の敗因がセンター試験での得点不足と、２次試験での数学の記述力にあったと分析し、ざっくり「センター対策と数学への注力が必要だなあ」と考えました。大学の授業と並行しての受験勉強でしたので、「逆算した行動」が肝要です。例えば、「10 月までに高校の復習を終わらせ、10 月からはセンター試験の演習をする」、そのためには、さらに逆算して「日本史と化学は〇〇までに終わらせる」のように、日々のすべき勉強はすべて逆算して考えていった気がします。部活にしても勉強にしても共通することは、ある目標があって、その目標を達成するために必要なことをするべき時にする、ということです。これは、『孫子』の兵法の一節、「敵を知り、己を知らば、百戦危うからず」に通じるところがあります。

また、自分で定めた大きな目標を達成したときの感動や喜びは何事にも代えがたいものがあります。こうした感動が仕事や人生の醍醐味になるのだと思います。朝露がある時間帯の早朝課外や、年末年始とお盆しか休みがなかった部活動を振り返って、大きな目線で「何のためにやっているのか」を考えてみると、その意味が（ちょっとだけ）わかる気がします。皆さんも、「目標達成のための逆算した行動」、少し意識してみてはどうでしょうか？

吉高生へのメッセージ・・・

私は当時の担任に「お前は寝ている時以外はバレーしてるか勉強しているかのどっちかだな」と言われたことがあります。こうなる必要は全くないですが・・・これだけ青春を謳歌（？）できるのも高校時代だけであり、そうした環境が吉高にはあると思います。

最後に、青春まっただ中である現役の皆さんに一つ、＂Seize the day＂というメッセージを贈りたいと思います。意味は英語の先生にでも聞いてみて下さい。